

2027 年度日本語教育学会春季大会

—2027 年 5 月 22 日・23 日 於：ライトキューブ宇都宮—

発表募集

新規発表申込締切：
2026 年 12 月 25 日（金）
日本時間 23:59

👉 **今大会では以下のテーマに関連する発表を募集します。**

※テーマ関連以外の発表も通常どおり募集しております。

日本語教育学会は、「人をつなぎ、社会をつくる」を使命として、さまざまな場における日本語教育実践・日本語教師養成と、研究としての日本語教育学、そしてそれらを取り巻く社会をむすび、社会的な役割を果たそうとしています。近年、日本語教育を取り巻く社会は、AI 技術の急速な発達、各地で繰り返される紛争、国際政治や社会の不安定化など大きく変化し、その中での日本語教育の役割も問い直されることになってきました。2026 年春季大会では、「時代の変化をとらえる日本語教育の知：「共に生きる社会」とことばをつなぐために」をテーマに開催し、成功裡に幕を閉じました。しかしながら、世界の変化はますます速度を増し、特に、人工知能をはじめとする新しい技術の出現によって、言語教育そのものが変わらざるを得ない局面に直面しています。また、日本語教育に関わる制度改革もあり日本語教育界は大きな波に揺さぶられているといっても過言ではありません。

そこで 2027 年春季大会では、2026 年に引き続き変化する時代と日本語教育の関わりを考えるため、

「日本語教育と社会の関係を問い直す—新たな制度と AI 時代の学び—」

を大会テーマとし、発表（パネルセッション、ポスター発表）を募集いたします。変わりゆく世界とさまざまな「新しい学び」を見据えながら、関係する教育機関や学び手たちがよりよく生きるために、研究と実践、研究と社会の関係性を問い直す議論ができればと考えます。例として、以下のような研究を挙げておきます。

- ・日本語教育を取り巻く制度改革が教育実践・教師養成・研究に及ぼす影響に関する研究
- ・AI 時代におけることばの学びと日本語教育の役割の変容に関する研究
- ・多様な学び手をめぐる社会環境の変化と日本語教育の社会的責任に関する研究
- ・変化する社会における日本語教育と研究・実践・政策との関係を問い直す研究

さまざまな教育現場にいる人々をつなぎ、私たちが立っている場所を見つめ直す場にしたいと考えています。みなさまの積極的なご参加を心よりお待ちしております。

👉 **発表応募の方法・スケジュールについて**

筆頭発表者のマイページ上からご応募ください。応募に先立ち、2026年度の会費の納入が完了していることをご確認のうえ、マイページ上で「新規発表申込」を行ってください。2027年度春季大会の発表申込の締切は **2026年12月25日（金）23:59（日本時間）** です。詳細は、「発表要領」

(<https://www.nkg.or.jp/event/assets/happyoyoryo-kaijoukaisai.pdf>) をご覧ください。



みなさまのご応募をお待ちしております！